

令和3年度第3回始良市地域公共交通会議 議事録

記録者	野元 政春
-----	-------

日 時	令和3年 12 月9日(木)	時 間	14時00分～15時 50 分
場 所	始良市立中央図書館2階 視聴覚室		
出席者	委員 湯元委員、若松委員【代理出席】、鳥部委員【代理出席】、藤委員【代理出席】 城ヶ崎委員【代理出席】、大重委員【代理出席】、坂口委員【代理委員】、三倉委員【代理出席】、佐藤委員【代理出席】、田村委員、安田委員、山口重幸委員、鬼塚委員、徳永委員、竹田委員、山口保男委員、野口委員、古市委員、若月委員、脇田委員、吉住委員、柳鶴委員、松林委員、高山委員、濱田委員、松里委員、塚田委員、小倉委員 事務局 地域政策課		
議 長	会長 湯元 敏浩(始良市長)		
資 料	事前配布資料		
傍聴者	復建調査設計株式会社 鹿児島事務所 所長 清川氏		

会議内容
(会次第) 1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 【報告事項】 ① 令和3年度第1回及び第2回始良市地域公共交通会議(書面決議)結果報告 事務局より、結果を報告。 ⇒質疑なし。了承。 ② 南国交通自主運行路線(木場線・漆線)の廃線について 【協議事項】 1 南国交通自主運行路線(木場線・漆線)の廃止に伴う代替案について 事務局より、議事内容1を【資料3】全体図に沿って代替案の概略を説明した。

⇒質疑なし。

(2)ふるさとバス(木津志線)の路線変更について

事務局より、議事内容(2)を資料4に沿って説明し、承認を求めた。

委員・・・帖佐駅を上りが朝、7時 46 分に出発で下りも8時台とかだが、朝の通勤とかは全然考えていなということか。

事務局・・・この時刻表については委託業者と協議をしているところであり、蒲生の方から南国交通の自主運行路線があり、そちらの方との兼ね合いもある。市のコミュニティバスだけで網羅するのではなく、自主運行路線との兼ね合いで時刻を決めている。

委員・・・朝の帖佐駅前の混雑具合を考えると自家用車が多い。それを解消するためには、バスの利用を促進する必要があるのではないかと。帖佐駅前の改良も予定はされているが。

事務局・・・自家用車を使用されている方を少しでも減らして公共交通の利用を促してはどうかということだと思われそうですが、全体的に大きく捉えるところでございますので、ご意見として賜って、今後、活かせるような形で検討していきたいと思います。

委員・・・今回のバス路線の廃止とデマンド交通の導入で利用される方の、地域の住民の方への説明、あるいは住民からの要望は事務局としてどう捉えられているか。住民へのプロセスとかはどうなっているか。

事務局・・・木津志線については、地元からの要望が前からあった。あったが、ふるさとバスと南国交通の自主運行バスが走ってるので、デマンド交通の導入はバスが走ってるので、検討はできないとお答えしていたが、南国交通の自主運行路線が今回、廃線になるということで、ふるさとバスの業者と協議をし、地元からの声も強いことからデマンド交通にしたいという今回の案である。住民説明会は、この協議会で承認を得ないと、我々が勝手に進めるわけにはいかないので、承認をいただいたら、来週、説明会をする段取りでセッティングはしている。

全体的なことでの要望というのは随時、市の方には届いている。デマンド交通にしてほしいとか、路線を延伸してほしいとかの要望は都度都度、文書で起こして、要望者には文書にて回答するようにしている。今回の路線見直しの中では、そういった要望等に基づいて業務を行っている。

委員・・・せっかくデマンド交通を導入しても利用者がいなければ入れる意味がない。並行的に進めていく必要があるんじゃないかと思う。始良市のやり方なので、どうこういうつもりはない。

バスからデマンドになったから必要経費が落ちる話ではない。そこはしっかりと管理していただきたい。

⇒質疑後、承認された。

(3)北山校区デマンド交通の運行開始について

事務局より、議事内容(3)を資料5に沿って説明し、承認を求めた。

⇒質疑なし。承認された。

(1)蒲生・山田・帖佐線のバス停追加について

事務局より、議事内容(1)を資料4に沿って説明し、承認を求めた。

委員・・・質問ではないが、川東いきいき交流センターの前の既存停留所は今一つ、帰りの反対側は非常に車の往来が激しく、新設停留所ができて、どちらにもあるが、深水とか新しく停留所ができて、この場所にはない。林業試験場前にはないが、そこを考えてもらいたい。

事務局・・・今現在、川東いきいき交流センターの帰りの便が、次が終点のくすくす館前ということもあり、昨年バス停を設置していなかったところでもある。また、今のご意見をくみまして、バス停の設置を検討したいと思う。

⇒質疑後、承認された。

【協議事項】

2 始良市地域公共交通計画(素案)について

事務局より、議事内容2を資料7(第1章から第4章)に沿って説明し、意見を求めた。

委員・・・法律改正になってから今回が初めて公共交通計画を作られると思うが、以前の法律から街づくりとの一体推進、観光振興との連携、福祉施策との連携のこの3つを新たに考えながら計画を立てましようとなっているが、今、説明頂いたのをみると、ほとんど網を作ったときのとあまり変わっていない気がする。始良市としては立地適正化計画も新たにたてられている。前回の網のときにはなかった計画である。そこら辺との整合性、あるいは新しい法律では、今まで地域住民の足を守りましようというところに視点を置いていたが、今度は維持してよいうところにも視点を置いている。利用者を増やして収入を増やして、市の財政負担を少しでも少なくしていく方向性も必要かなと思う。1ページの2行目の文言の基本理念は第1次のときの基本理念になっている。その辺もあるので、見直しができる部分は検討してほしい。

事務局・・・今のそのあたりについては、確認します。最終的な計画の中身ではご指摘のいただいたとおり、利用促進を図って、その結果として財政負担を減らす考え方で設定している。将来的な目指す姿としては、網計画作った時からだいぶ面的に乗合タクシーを入れて、公共交通が変わってきたということはあるが、立地適正化とかの計画の整合、考え方としては、盛り込んでいるが、今後詰めていきたいと考える。

⇒質疑後、承認された。

2 始良市地域公共交通計画(素案)について

事務局より、議事内容2を資料7(第5章)に沿って説明し、意見を求めた。

委員・・・115 ページの下の方の図の通学時の代表交通手段ですが、霧島市がないのは、漏れとかではないか。

事務局・・・そこについては、持ち帰って確認します。

⇒質疑後、承認された。

2 始良市地域公共交通計画(素案)について

事務局より、議事内容2を資料7(第6章)に沿って説明し、意見を求めた。

委員・・・JRの問題について質問をしたい。その他で質問があるのでその時に質問をしたい。そのときに答えてもらいたい。数値的なものが出されたが、本当にこのことだけで乗降客が増加していくのだろうか。なぜならば、JRの作業方針、会社の方針をみたときに、赤字のところを全て切り捨て、それはみえみえだ。利用者の事を全く考えていない。これは本当に公共交通機関なのか。自分も国鉄にいてそのことは分かっているが、公共的な立場として、私も住民の代表として社長からの方針についても聞きたい。この計画は紙の上だけの物ではない。始良市の中に5つ駅があるが、お客様が雨をしのぎ、風をしのぐところがなくなっている。平川駅のトイレも撤廃された。今度、指宿線もおそらくなくなっている。それが本当に公共的な交通機関なんだろうか。利益のことしか考えていない。そういうところを考えていかないと利用者は増えない。重富駅の乗降者数も減っている。ここについても跨線橋の問題がある。特に高齢者になったときに、上り線は早く行って待つとかないといけない。椅子もなくなった。風よけの壁もなくなった。どこで待つんですか。それで数値を上げるのは無理なことだ。行政が椅子とか屋根とか撤廃されたときに、どういった対応をされたのか。行政職員といっても市民だ。市民の立場でJRとどういった交渉をしたのか。私が聞いた時には、9月28日に撤廃されましたよね。その時に市の職員は、そのときに自分たちも知りました。とんでもない話だ。文書

はJRの方から9月6日にきてるじゃないですか。なんで28日に撤去されたときに知りましたと話をされたんですか。市民のことを考えれば、われわれにも話があって、JRさんとも交渉させてよとなったんじゃないかと思う。だから、今の市民が行政を信用できないのはそういうところにある。JRさんにはその他のところでお尋ねいたします。

事務局・・・JRさんからの撤去等についての時系列については、今手元に資料がないので確認させてほしい。この計画についても絵にかいたような餅とならないように実現性を含めた形でこの計画を作成していく方向である。そのために皆様方からのご意見等を伺いながら、作成していかなければならないという気持ちで臨んでいる。別に市民の方を軽視している気持ちはございませんのでご理解いただきたいと思う。

議長・・・市長の立場で答えさせてもらいます。先日、JRの鹿児島支社長とお会いした時に話をした。帖佐駅のエレベーター化と重富駅の屋根の部分の話をした。住民の方の要望が強いので口頭で伝えた。JRの立場の回答もいただいた。重富駅については、撤去したが、安全、安心の運行と時間通りの運行がJRの目標である。サービスがそこにあると支社長さんは言っておられた。利用者があってこそそのことなので、駅の環境を整えられるのであれば、もう一回実行していただけないかと念をおしたところ。行政は何もやっていないということではない。民間企業であるJRさんに言えるところと言えないところがある。市民の気持ちがそこまで高ぶっているのであれば、言わないといけないということで先日、支社長の中村さんにお伝えした。

委員・・・私も、もう74歳で高齢化の中にあるが、そろそろ免許の自主返納も目の前に迫ってきている。免許返納するといろんな利点があると聞いているが、どうしてもバスとか使わないといけないが、自主返納とマッチングさせた対応を考えたらいかがか。

事務局・・・164 ページにも記載されているが、高齢者や体の不自由な方等に対するきめ細やかな対応で、その中の自治体の取り組み等も記載されている。そのあたりも踏まえまして、本市も検討していきたい。

委員・・・達成の状況とか書いてあるが、主に高齢者とか買い物弱者がいろんな場面にでてくるが、実は始良市は山間部をかかえている。私はその中の一つの漆地区の出身である。先ほどの話で漆線のバスはなくなると話はあったが、8時以降のバスはあるが、中学生、漆は中学校もなくて蒲生にきている。高校生もそう。今はどうなっているかという、家族が送っていけるところは車で行っているが、その他はバス利用になっている。できれば通学も含めて、中山間地域の交通手段として、そこまで含めて考えてほしい。昼間の買い物、病院は十分だと思う。

事務局・・・中学生については、スクールタクシーということで、教育委員会での対応をさせていただいている。実態としてはバスの利用者は見受けられないのが実態。我々も中山間地域への移住定住の事業等も行っているので、その方たちの利便性も考えて、今後ご意見としていただきたいと思います。

委員・・・163 ページの自家用有償運送のことが事業概要で触れられているが、既存のバス・タクシー事業者による輸送サービスが困難な場合にそこを補完するという形が前提にして活用することになるので、交通事業者の活用を検討しないまま自家用有償運送の導入の検討することがないように。自家用有償運送の定義というところで、記載をしていただければ。

事務局・・・そのような形で作成します。

委員・・・148 ページに拠点機能の強化というところで、下の方に図が入っている。都市中心拠点と都市生活拠点が入っている。これと、152 ページにターミナル拠点、サテライト拠点がある

が、これがリンクしているか。目標の設定値で155ページに①～③まであり、その隣のページに1人あたりの委託料とあるが、この目標値はリンクされているのか。コミバスが年間37,000人乗れば1人あたりの委託料が1,200円以下になるのか。この数字の設定の仕方は、そうゆうふうな考え方でやられているのか。検討をお願いしたいのは、他の委員の方からもでていたが、この公共交通計画は、今後5年間で始良市がやっていく事業を書くべきと考えている。この計画をみると、やる事業については検討しますとか、そうゆう文言で全て終わっている。もし書けるのであれば具体的にやっていく事業あるいは、決まっていなくてであれば、この事業をやるためにこうゆうふうに進めていきますといったような方向性を書く。先ほど中学生の通学の問題がでていたが、教育委員会の方とこの公共交通会議で連携すれば、何とか道が開けるんじゃないかと思う。最後にもう一つ、この公共交通計画には直接関係ないかもしれないが、フィーダーの国庫補助の申請をされているが、この公共交通計画の中に、この検討を盛り込まない限り補助金は令和6年度で会終わるので、そのあたりをどう考えているのか。

事務局・・・表現は少し違うかもしれないが基本的にはリンクしている。数値目標については、中々そこまで利用者数が増えると財政負担が落とせるといった試算は難しい。例えば乗り合いタクシーはたくさん使ってもらいたいが、予約で1人乗りが増えれば負担が増える。完全に数値としてこれだけ減らせるといったところまではいっていない。目標として、それまでの水準までというところで設定している。令和6年度からのフィーダーの計画に盛り込まないと補助金がもらえないということですが、この計画の中にこれまでの利用実態とか予約型乗り合いタクシーの方向性とか明記はしてあるが、それだけではフィーダーの要件はクリアしないということか。

委員・・・公共交通計画の中で、位置していくのを盛り込まないといけないと聞いている。具体的な盛り込み方については、代理出席なのでそこは後日、相談していただければと思う。調査の中での盛り込みではたらないと思っている。計画の後段のほうに、何らかの形で文言として入れていく必要があると思う。

⇒質疑後、承認された。

3 その他

委員・・・JRのこれからの駅に対しての取り組みといいますか、おそらく私が聞いたところによると指宿線の老朽化されたものについては、経費が掛かるから全部撤廃すると聞いている。平川駅のトイレについても学生が困って民間のおじちゃんおばちゃんにお願いをして民間のトイレを借りているというのはご存知だったのでしょうか。そしてまた重富駅の屋根の撤廃についても5メートルほどは残っているが、椅子がなくなっているということで高齢者の方が上り線を利用する場合に跨線橋を渡ってずっと立って待っている。下り線であればまだ駅舎があるからいい。利用者が減っているのは、上り線のほうは跨線橋がある関係で始良駅を使っている。鹿児島まで行って帰る人、跨線橋を渡らないといけないから始良駅で降りている。人数が減っているのはそこにある。始良駅が千何人となっているが、それは重富駅で降りる人が始良駅で降りているから重富駅が減っている。雨除けの屋根がないというのを、地域で何とかできないかというのが私の考え。そうしたときにJRが図面を出せ、その辺はもう少し公共的なものであれば、地域がするというのであれば、それは安全上の問題はあるけれども、危険のないようなものでちゃんとしてもらえませんかというぐらいのことは私は言えるのではないかと思います。

地域貢献をやってもらいたい。JRとしてこれから、会社の方針として、どういうものをされていこうとしているのか聞きたい。

委員・・・色々ご意見ありがとうございます。私どもが先ほどから話を聞いておりまして、皆様にとってサービスが行き届かないとのご指摘については、深くお詫び申し上げたいと思う。国鉄からJRになって法律化も含めて経営の改善を行ってきた。一部上場までさせていただくことができたが、2年前からコロナの状況になり、お客様の状況ぐっと減っている。お客様の直近の状況を申し上げますと、定期のお客様は鹿児島地区は学生で支えられている。2019年で比べると9割ぐらい。そのほかについては全体的に5割以下という状況になっている。鉄道事業の特性として道路、線路、電線についても自分たちで保守しないといけないので、大変固定費がかかる商売になっており、直ぐ赤字になって。現時点で赤字になっている状況。なぜ、我々が駅の設備とかを老朽取り換えをやっていくところを、屋根を撤去させていただいたり、トイレを撤去させていただいかというと、我々も何とか設備を縮小していきたい。管理費含め設備投資も含めてお客様の状況も見ながら、例えばトイレであれば列車のほうに車両に設置してあるので代替えでの利用ができる。指宿・枕崎線の屋根についてもお客様のご利用をみながら、高校生の多いところについては、老朽取り換えをしながら、弱っている部分の屋根については、台風とかで飛んでいくと大変なことになるので撤去させていただいた。重富駅についてもご迷惑をお掛けしておりますけれども、そういった状況で一部の屋根は残させていただきながら、老朽取り換えした部分については、我々の会社のお金も無くなっている。路線の維持管理含めて、どこまで出来るかっていうのは、お客様のご意見を聞きながら検討していきたい。ご迷惑をお掛けしていることも、いろんなところからお声かけはいただいておりますし、できるところにつきしては、先日市長からも住民のみなさんからのご意見も踏まえて申し出もいただいているので、一つ一つ耳を傾けながら路線のなんとか存続維持まで頑張っていきたいと思う。一方始良市は人口が増えている。行政の頑張りで、人口が増えている自治体は九州では中々なくて、そういった始良地区での今後の駅のご利用も含めて、人口が増えてて尚且つ大量輸送で多くのお客様を運ぶというのが鉄道の運行形態になってくるので、人口に大変左右されるところもあるので、今回の公共交通の計画についても街づくりと一緒にベッタウン含めまして、そういったのに絡めまして貢献させていただきたい。地域貢献も踏まえてやっていきたいと思う。

委員・・・地域との連携はしっかりとっていかないと、絶対的に市民は認めない。何かあったときに我々は何かできないかもしれないけど、相談はしてもらいたい。

委員・・・せっくなので運輸支局の方にお聞きします。始良市では福祉バスを廃止したが、その時に担当部局の説明で運輸支局の方から、それは白タク行為にあたると指摘があったが、福祉バスは白タク行為にあたるのか。また、そういった指導をされたのか。

委員・・・運行主体はどちらになるのか。

委員・・・市役所。

委員・・・市が市のバスで無償でやれば問題ない。

委員・・・ただ、白タク行為にあたるから廃止にすると説明を受けた。

委員・・・これについては、中身も違うしこの会議とはそぐわない部分もあるので、これについては文章で直接回答します。

事務局・・・次回の第4回始良市公共交通会議の日程についてですが、事前に文章でお知らせはしておりましたが、来年の1月 18 日火曜日、時間と場所は今回と同じです。第5回始良

市地域公共交通会議ですが、来年3月上旬、8日前後を予定している。改めて、文書でご依頼いたしますので、その際は回答書のほうで出欠をお願いしたい。

4 閉会